

シーシーアイグループ

関市・カーケミカル、カーケア用品、産業タイヤ等の開発・製造・販売

従業員数／男性275名 女性92名 計367名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①スーパーフレックス制度の実施で子育てとの両立を支援
- ②ITの導入と業務の標準化による作業効率の向上
- ③在宅勤務やサテライトオフィスの推進で場所を選ばず働ける環境を整備



技術職の村上さん(右)は2児の母親。スーパーフレックス制度を活用して勤務時間を調整することで、フルタイム勤務と子育てを両立している。

こうした柔軟な働き方を可能にした秘訣は、徹底した業務の効率化だ。手入力で行っていた受発注業務のRPA化で、年間に換算すると3175時間分の事務作業を削減。ジョブローテーションにより業務を標準化し、いつ・誰が休みを取つても全体でフォローできる体制を整えた。

また現在推進しているテレワーク制度の足掛かりとして、20年に岐阜駅近郊にサテライトオフィスを新設。社員であれば自由に出入りができる、岐阜市内在住者の通勤時間が短縮や名古屋経由で全国出張する際の拠点確保に役立っている。

岡部鉄也社長は「今後は社屋の立地や労働時間帯に囚われず、制度を活用して多様な人材を集めまつてもらえた」と語った。



シーシーアイグループでは、ライフスタイルに合わせた就労制度の確立と業務の効率化を重ね、働きやすさの創出に力を入れている。

2004年には他社に先駆けて、コアタイムを定めないスーパーフレックス制度を導入した。特別な理由がなくても事前申請すれば利用可能で、子育て世代の社員を中心

に広く活用されている。総務部の西村さんは「通院や学校行事の際の利用など、社員にとって当たり前のようにも浸透している制度。ワーク・ライフ・バランスの充実につながっている」と微笑む。

また「男性の育休取得率20%」を目標に制度の周知に取り組み、

0%だった取得率は5年間で75%まで上昇した。女性だけでなく男性社員にも子育て参画の意識が広がっている。



サテライトオフィスは開放的なカフェのような雰囲気。個人デスクではなく、社員は用途に合わせてソファやカウンター、向かい合わせのテーブル等で作業を行う。

柔軟な就労制度と環境整備で働きやすさを生み出す